

# 随想

第166回

暑い夏がやってまいりました。

五十九年前のあの暑い夏の日の正午に聞いた玉音放送が耳に残り、感慨無量でありますとともに、尊い犠牲となられました戦没者諸霊に心から敬意と哀悼の誠を捧げます。

爾来、わが国は平和に徹し、豊かな社会を築いてまいりました。

しかし、現在でもこの地球上で、無差別テロが蔓延し、人質の方の首が刎ねられるという恐るべき現実があります。

人類は共通の「種」として、理性に基づき世界恒久平和のために心を一つにしたいものであります。

さて、今回は「安全・安心のまちづくり」について皆さんとともに考えたいと存じます。

安全と安心は、一般的に

は同義語のように扱われ、特に区別することは少ないのではないのでしょうか。

しかし、最近、著名な都市学者の講演を聞きまして、「安全」は防災（ハード面）に関係し、「安心」は防犯（ソフト面）に関係するというお話に共感を覚えました。安全が確保されてこそ、安心が得られるのも事実であります。

地球温暖化に起因すると思わ



れます最近の異常気象は、各地で記録的な集中豪雨を降らせ、新潟県、福島県などに続いて福

井県にも激甚災害をもたらし、多くの尊い人命が失われました。被災された皆様に心からお見舞いと、ご冥福をお祈り申し上げますとともに、一日も早い復旧を願っております。

近時、公共投資のあり方が議論されておりますが、非常時に

備えることは大切なことであります。

過去、本市でも何度も大きな浸水被害を経験し、その対策に鋭意取り組んでまいりましたが、幸い、土岐川流域では上流部に小里川ダムが完成し、市内を中心とする流域では上下流一体となった土岐川の抜本改修が、国の直轄事業として完成に近づき、来る八月二十三日には「土岐川河川災害復旧等関連緊急事業」

の完成式が予定されております。永久橋と神明橋も、立派な長大橋として生まれ変わりました。この事業により、土岐川の治水安全度は飛躍的に改善され、過去の最大雨量程度には十分対応できると存じますが、想像を絶する豪雨も考えられ、用心は必要であります。

また、豪雨災害では土砂崩れも心配であり、尊い人命が失われ

## 安全・安心のまちづくり

終戦の日に想う

土岐市長 塚本保夫

がありました。

しかし、平成八年ごろから犯罪の急増で検挙率が40%を割るまでに低下し、警察力だけでは及ばなくなり、地域と警察が一体となって、犯罪のないまちづくり、悪い人を出さない社会づくりの重要性が認識されて、国民運動となってまいりました。

本市でも、先般、泉地区防犯パトロールが発足し、自治会を

中核として、散歩を兼ねたパトロールが始まりましたことは素晴らしいことでもあります。

また、肥田町のPTAパトロールをはじめ、以前から夏休み中の夜間パトロールなどが市内各地で行われており、ありがたいことでもあります。

最近、全国各地で住民による防犯パトロールの有効性が注目され、青色回転灯を装着した防犯車の運行や、プライバシーに配慮した上で街角に防犯カメラを設置して成果を挙げている都市もあります。

また、ブロック塀は防災上危険であるばかりでなく、防犯上も犯人の隠れ場所になりやすいため、生け垣で透けて見えるようにすれば、防災と防犯の両面から効果が大きいといわれますので、助成策を含めて検討したいと存じております。

安全と安心をみんな考え、お互いに力を合わせて頑張ろうではありませんか。（七月二十一日夜記）